

令和4年度第1回熊本県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会開催概要

1. 開催日時 令和4年7月19日（火）13時30分～15時30分
2. 開催場所 熊本職業能力開発促進センター 第一研修棟 教室1及び教室2
3. 主な議題

- ・ 令和3年度事業実績について
- ・ 令和4年度事業実施計画について
- ・ 荒尾訓練センター部会報告について

4. 議事経過

議事に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(令和3年度事業実績について)

- ・ 求職者の実態把握について

人材の流動性が今後は当たり前になるような社会が来ると考えられる、そういった中で応募者や入所者がUターンなのか、Jターンなのか、Iターンなのか、求職者の意識、実態が分かるデータ収集し資料に入れていただきたい。

(令和4年度事業計画について)

- ・ 訓練課の定員設定について

訓練定員の設定については、昨年度の実績を踏まえて検討していると思うが、昨年度の定員充足率が低いにもかかわらず訓練定員が変更されていない科が見受けられる、今年度の入所状況を見ながら令和5年度の定員設定においては柔軟な対応をお願いしたい。

- ・ 中小企業及び小規模事業者への就職支援について

大手半導体製造企業及び関連企業の県内進出に伴い、労働者の争奪戦が生じることを危惧している。

給料等の労働条件が良い事業所へ人が流れていくことは仕方のないことだが、地場の中小企業及び小規模事業者への訓練生の就職について積極的な対応を要望する。

- 修了生への就職支援について

大学等では、離職した学生又は転職を希望する学生に対しても相談に応じ、無料職業紹介が行われている。ポリテクセンターにおいても、離職した修了生から相談があった場合は、同様の対応をお願いしたい。

- 県北地域の就労支援について

荒尾はかつて職業安定所があったが、石炭等の関係でなくなってしまい、ポリテクが安定所的な機能も果たしていると思う。地域社会にとっては大きなセーフティネットとなっているので引き続きご尽力願いたい。

- 県南地域の人材育成について

資料中の様々なデータを見ると、ポリテクセンターの所在地の関係から、離職者訓練の入所者が県北地域の方が主体となっており、県南地域の方々へのフォロー、ケアができていないのか心配である。県南地域にニーズがないのか、それとも地理的なこともあって届かないのか、長年の課題かと思うが県南地域の方々への訓練受講機会の提供について検討をお願いしたい。

以上

令和4年度熊本県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員名簿

氏名	所属及び職名
荒井 勝彦 (会長)	元熊本学園大学経済学部特任教授
花立 剛	熊本日日新聞社論説委員会副委員長
遠藤禮一郎	熊本県専修学校各種学校連合会理事 熊本工業専門学校副学長
友田 孝行	日本労働組合総連合会熊本県連合会会長
森田 操	日本労働組合総連合会熊本県連合会副会長
田村 仁	熊本県商工会議所連合会事務局長
原 悟	熊本県商工会連合会専務理事
岩永 秀則	熊本県経営者協会専務理事
斉藤 浩幸	熊本県中小企業団体中央会専務理事
渡邊 紀隆	荒尾商工会議所専務理事
植木 洋之	熊本労働局職業安定部 部長
北口 健一	熊本労働局雇用環境・均等室 室長
工藤 真裕	熊本県商工労働部商工雇用創生局 労働雇用創生課 課長
岩下 正人	菊池公共職業安定 所長
名垣 眞一	合志市 副市長